

第2回鈴鹿山系連絡協議会

遭難対策や自然保護の現状報告

理事長 北村 憲彦

〔日時〕平成25年11月9日
〔土〕10日〔日〕

〔場所〕三重県三重郡孤野町・孤野町役場および朝明茶屋

〔参加県〕岐阜県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、滋賀県、愛知県

昨年(第1回)の会議が滋賀県で開催され、本年は三重県での開催となった。この会議では、鈴鹿山系について遭難対策や自然保護の現状や対策について話し合われる。

遭難対策として、行政・消防・警察・岳連の連携を強化している県は、岐阜県・三重県・滋賀県である。今後、そのような連携強化の必要として、登山技術の研修を行い始めたのは奈良県であり、今後必要と考えているのは、兵庫県であった。それぞれ多くの登山者が訪れる北アルプス・鈴鹿・比良・六甲があり、また山深い大峰を有する各県は積極的な対応が取られている。大阪府、京都府、愛知県では、岳連内での遭難対策の訓練などは行っているが、現状では行政との連携は活発ではない。

また、登山者の意識調査を通じて、遭難防止を啓発する活動が滋賀県では比良山で、愛知県では黄金週間の前後で朝明と御在所で同様のアンケートを実施したことが報告された。来年度の同じ時期に、各県でも同様のアンケートを行い、遭難防止を呼びかけることが決まった。

三重県からは、特に遭難防止について注意喚起として、堆積した落ち葉の上を180メートルの滑落事故が起きた例、クライミングジムで育ったクライマーが未熟な確保持術による墜落事故の例が示された。今後このような事故が増えるのではないかと危惧される。

自然保護については、京都府が600名参加で1.5トンのごみを回収する清掃登山を実施し、兵庫県が自然保護散歩を年10回や六甲の森再生運動など活発である。岐阜県、滋賀県、愛知県では岳連内を中心に自然観察会や清掃登山などが行われている。三重県では登山道の整備が積極的に行われていることが報告された。

その他として、韓国の国立公園内の登山事情、若い登山者の増加策、未組織の登山者

高体連新人登山大会

過去最多男女34チーム150人が参加

常任理事 岩 狭 満

11月9、10日に高体連新人登山大会が三重県の朝明溪谷・朝明茶屋および釈迦ヶ岳にて行われました。参加チームは、男子が16校26チーム、女子7校8チーム、総勢150人と、この10年間で最大規模の大会になりました。

の受け皿についても討議された。各県とも共通する問題を抱えていることが分かった。

大会1日目は、登山道に置かれた目印の地点を地図上にマークする踏査競技やテントの設営、炊事、天気図、装備、登山に関する知識の各種ペーパーテストなどの審査が行われました。近年はどのチームもレベルが上がっており、ちよつとしたミスで順位が大きく入れ替わるような状況になっています。これも新人大会直前に行っている秋期登山講習会の成果の一つだと思えます。

大会2日目は規定重量を背負って水無から釈迦ヶ岳に登り、羽鳥峰を経由して朝明茶屋に戻るコースで縦走競技を行う予定でしたが、雨天のため安全を優先し、中尾根から

下山するコースに短縮しての実施になりました。雨の中の登山行動ということもあり、女子チームの中にはリタイヤ寸前のチームもありましたが、なんとか全員がゴールの朝明茶屋まで戻る事ができ、無事に大会を終えました。

一時期は参加人数が減少の一途で、高校登山部の危機を感じていましたが、近年の山ガール・山ボーイブームの影響か、4年ほど前から高校生の登山部人口が増加しています。自然に親しみ、登山を楽しむ若い世代が増える事はとても喜ばしいことです。高校の部活動で行う登山には限界があります。素晴らしい山の自然を一人でも多くの生徒に見せてやりたいと思っています。なお、大会の結果は以下のとおりです。

- ▲男子 優勝 岡崎 A ② 明和 A ③ 旭丘
- ▲女子 優勝 半田 B ② 半田 A ③ 幸田 A

公官庁の許認可申請・権利義務・事実証明の書類作成

西山行政書士事務所

〒460-0002
名古屋市中区丸の内3丁目1523番地 大栄ビル204号室
TEL: 052-961-6506 FAX: 052-961-6507
URL: <http://www.nygs-office.com/>
facebook: <http://www.facebook.com/nygs.office>

CLIMBING PARK 東三河初のクライミング施設



<http://climbing-park.com>

☎0532-26-3737

住所: 愛知県豊橋市関屋町138番地

MONTANA



住所: 愛知県豊橋市萱町5番地 ☎0532-56-0125 <http://www.montania.jp>

第17回「遭難を考える」講演会

低体温症や心臓突然死など聴講

第17回「遭難を考える講演会」が、去る11月29日(金)午後7時20分から、県スポーツ会館大会議室に於いて行われた。

テーマは「救える命を救いたい」講師に国際山岳医、北海道警察山岳遭難救助アドバイザーで医学博士の大城和恵氏を迎え、会員・一般120名が聴講した。

講演は、まず80才でエベレスト登頂を極めた三浦雄一郎のサポートとして携わり、その間の様子をエピソードを交えながら語っていた。次に、低体温症や雪崩埋没に遭遇した場合の対処法。

低体温症を防ぐには、風と濡れに注意すること。対処法としてまず症状で判断し保温をする。回復させるには、隔離(風・濡れ)・熱源を加える(加温に適した部位)・体幹、首、腋窩、鼠径)・体温の低下を止める。などまた死の3徴として、瞳孔散大、対光反応無し・自発呼吸無し、心電図(心静止)があげられる。次に、山の遭難で最近増えてくるものに、心臓突然死がある。その特徴として男性



講演会会場

が90〜95%で34歳以上に多く規則的な運動をしていない人、ストレスなどが影響する。心臓突然死の予防として、初日はゆっくり登る。・エネルギー補給しながら登る。・朝食を摂る、最低2時間毎に炭水化物)・水分摂取(登山前に500ml、登山中は30分毎に200ml)心筋梗塞・狭心症になりやすい人(血清コレステロール値が高い、高血圧、喫煙、糖尿病、不規則・不適切な食習慣)などが示され、パワーポイントを使用して解説された。その後、質疑応答があった。21時閉会となった。

去る十一月二日、三日鞍ヶ池公園で行われた救助技術講習会に参加した。

講習会は、縦走コース、岩場基礎コース、岩場実践コースの3つのコースが設けられており、私は岩場実践コースで受講の申込をした。

当日受付で頂いた参加者名簿を見ると、受講生が十一名で、指導員が十六名、岩場基礎と実践コースで四名になっていた。これは、中身の濃い講習が受けられると期待が膨らんだ。

初日は広場と斜面を利用して、救助に利用する技術の各パーツ毎に説明や指導を受けた。特に印象的だったのは、通常利用するフィギュアエイトノットやオーバーハンドノットは、救助の場面で

無雪期救助技術講習会に参加

まったり山楽会 野田 貞雄

は救助者と要救助者の二人分の荷重が掛かるため、結び目を解くことが困難になるという説明であった。それを解決するために、フィギュアエイトノットに代えてシープシヤンク(縮み結び)を用い、オーバーハンドノットは、ハーフ

ヒッチやツーハーフヒッチが使われるということであった。ムンターヒッチは、荷重が掛かった状態で結び目が岩や立木に挟まれるとロックしてコントロール不能になるとか、オートブロックノットも荷重が掛かった状態では解除不能になるなどの指導を受けた。その対処法を学んだ。

二日目は、全体を通して救助システムの構築と救助の実習及び内反ねんどのテーピング実習を行った。

救助の場面は千差万別で、その場面に応じた救助システムをいかに間違いない構築することができかが問われる。今回は、引上げや吊り下げシステム、斜張りによる空中搬送など様々な手法と共に、実際に即応した応用技術の指導も受けることが出来、実に中身の濃い講習であった。

指導員の皆様へ感謝いたします。今後は反復練習に努め、もし方一というときがあれば対応できるようにしておきたいと思っております。

Renopoint
<http://www.renopoint.jp>
 Original Wear & Goods
 オリジナルウェア・CMウェア (広告掲載)
 カジュアルユニフォーム&グッズ
 デザイン・企画・制作
 お気軽にお問合せ下さい。
 特許出願 GLASS PERCH(グラスパチ)
 株式会社リノポイント 〒491-0835 愛知県一宮市あずら1-5-7
 TEL:0586-58-5021 FAX:0586-58-5022 E-mail: ito@renopint.jp

うなぎ錦三丁目 い ば しょう

 〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号
 TEL <052> 951-1166 番
 営業時間 午前 11:00~午後 2:30
 午後 4:00~午後 8:00
 定休日 日曜日・第二・第三月曜日